

決算補足説明資料 2018年度 決算

2019年5月10日

田辺三菱製薬株式会社

証券コード: 4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ

広報部 TEL 06-6205-5211

FAX 06-6205-5105

目次

1	2018年度 決算の概要						
	1. 2018年度 業績サマリー	2. 2019年度 業績予想サマリー	3. 配当金		2	
2	2018年度 連結決算について						
	1. 損益状況					3
	損益実績					3
	主要製品売上収益					4
	2. 財務状況					5
	資産・負債・資本の状況					5
	キャッシュ・フロー計算書					6
	設備投資 / 情報システム開発投資 減価償却費および償却費					7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数					7
3	2019年度 業績予想について						
	損益予想					8
	主要製品売上収益予想					9
	設備投資 / 情報システム開発投資予想 減価償却費および償却費予想					10
4	5ヵ年連結財務数値						
	日本基準	損益計算書	貸借対照表	その他財務数値	11	
	IFRS	損益計算書	財政状態計算書	その他財務数値 従業員数	12	
5	四半期業績の推移						
	損益計算書					13
	主要製品売上収益					14
6	新製品開発状況について(2019年4月30日現在)						
	自己免疫疾患	糖尿病・腎疾患			15	
	中枢神経系疾患	ワクチン			16	
	その他疾患					17
	2018年度第3四半期決算発表からの変更点					18
7	その他						
	1. 関係会社					19
	関係会社数	連結子会社一覧	関連会社およびジョイントベンチャー一覧		19	
	2. 株式の状況					20
	発行済株式数	大株主の状況	所有者別株式分布状況(単元株)				
	配当金 / 株価推移					20
参考	主要医療用医薬品の解説 / ニュースリリース					21

1 2018年度 決算の概要

(億円未満切り捨て)

<ジレニア ロイヤリティについて>

2019年4月24日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました通り、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス」)との間で仲裁手続きが進行中であることを受け、2018年度業績において、「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分につきましては、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」が定める収益認識基準の要件を満たさなくなったため、売上収益の認識を行っておりません。また、仲裁手続き中は同様の会計処理を継続することとしており、2019年度につきましても、仲裁手続きが継続していることを見込んで業績予想を策定しております。

当社は、ノバルティスが契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

1. 2018年度 業績サマリー

売上収益	4,247 億円	前期比	90 億円	2.1 %
国内	3,077 億円	前期比	131 億円	4.1 %
海外	1,170 億円	前期比	40 億円	3.6 %

国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」の伸長、2017年9月に発売した2型糖尿病治療剤「カナリア」や2018年7月よりヤンセンファーマとの販売枠組みを変更したクローン病などの治療剤「ステラール」の寄与などにより重点品は増収となったものの、2018年4月の薬価改定や2017年10月のジェネリック医薬品事業の譲渡などの影響により、前期比3.4%減収の2,987億円となりました。

海外医療用医薬品は、2017年8月に米国で発売したALS治療剤「ラジカヴァ」が大きく寄与し、前期比42.9%増収の551億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」やJanssen Pharmaceuticals, Inc.(以下「ヤンセンファーマシューティカルズ」)に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入の減少などにより、前期比20.3%減収の631億円となりました。

コア営業利益(注)	558 億円	前期比	227 億円	28.9 %
-----------	--------	-----	--------	--------

国内重点品の伸長や米国での「ラジカヴァ」の増収や業務生産性改革の推進に伴う販売費及び一般管理費の減少はあったものの、薬価改定による減収やロイヤリティ収入の減収等の影響に加え、後期開発へのステージアップや前期におけるニューロダームの買収などによる研究開発費の増加などにより、減益となりました。

(注)当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等を想定しております。

営業利益	503 億円	前期比	269 億円	34.9 %
------	--------	-----	--------	--------

非経常項目として、構造改革費用、減損損失等を計上しております。

税引前利益	504 億円	前期比	283 億円	36.0 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	373 億円	前期比	205 億円	35.5 %

2. 2019年度 業績予想サマリー

売上収益	3,760 億円	前期比	487 億円	11.5 %
コア営業利益	100 億円	前期比	458 億円	82.1 %
営業利益	115 億円	前期比	388 億円	77.1 %
税引前利益	120 億円	前期比	384 億円	76.2 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	50 億円	前期比	323 億円	86.6 %

2019年度については、国内医薬において、本年10月の消費増税に伴う薬価改定による減収を重点品の増販強化でカバーするものの、仲裁手続きが継続することを見込んでおり、「ジレニア ロイヤリティ」の一部について売上収益の認識を行わないこと、さらに、米国ラジカヴァの待機患者の一巡による新規患者数の減少もあり、前期から減収を予想しています。

利益面では、上記の減収要因はあるものの、2023年度の中計見直し目標達成につなげるため、引き続き高水準の研究開発費を投じる予定であることから、コア営業利益、および営業利益以下の段階利益は、いずれも大幅な減益となる見込みです。

3. 配当金

	2019年度(予想)			2018年度		
	上期末	期末	年間	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円)	28	28	56	28	28	56
配当性向	-	-	628.1%	-	-	84.0%

2 2018年度 連結決算について

(億円未満切り捨て)

1. 損益状況

損益実績

(単位:億円)

	2018年度	前期比較			予想比較			主なポイント (前期比較)
		2017年度	増減額	増減率%	当初予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	4,247	4,338	90	2.1	4,350	102	2.4	P4 ¹ 主要製品売上収益 ¹ 参照
国内	3,077	3,208	131	4.1	3,047	29	1.0	
海外	1,170	1,129	40	3.6	1,302	132	10.1	
海外売上比率	27.6%	26.0%			29.9%			
売上原価	1,806	1,697	108	6.4	1,760	46	2.6	薬価改定の影響、ロイヤリティ収入の減少等による売上原価率上昇
売上原価率	42.5%	39.1%			40.5%			
売上総利益	2,441	2,641	199	7.6	2,590	148	5.7	
販管費	982	1,040	58	5.6	1,010	27	2.7	業務生産性改革の推進等による減少
販管費比率	23.1%	24.0%			23.2%			
研究開発費	865	790	74	9.4	845	20	2.4	前期におけるニューロダームの買収、開発プロジェクトの進展等による増加
研究開発費比率	20.4%	18.2%			19.4%			
製品に係る無形資産償却費	29	24	4	19.7	30	0	2.2	
その他損益(注2)	5	0	6	-	5	0	-	
コア営業利益	558	785	227	28.9	700	141	20.2	
非経常項目(注2)	55	12	42	-	30	25	-	主に戸田事業所の閉鎖決定に伴う減損損失等の構造改革費用
営業利益	503	772	269	34.9	670	166	24.9	
金融収益	12	18	6	33.4				
受取利息								
受取配当金	11	12	0	7.6				
為替差益	-	0	0	100.0				
その他	1	6	4	82.0				
金融費用	11	4	7	177.9				
支払利息	1	1	0	8.6				
為替差損	8	-	8	-				
その他	0	2	1	68.0				
税引前利益	504	787	283	36.0	675	170	25.3	
法人所得税	182	247	65	26.4				
当期利益	322	539	217	40.3				
親会社の所有者に帰属する当期利益	373	579	205	35.5	470	96	20.5	
総人件費	741	727	13	1.8	754	12	1.7	

(注1) 2018年5月9日に公表した当初業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

(単位:円)

為替レート	2018年度 平均レート	2017年度 平均レート	2018年度 計画レート
米ドル	111.07	110.70	105.00
ユーロ	128.26	130.25	130.00

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約 2億円、コア営業利益で約 +3億円の影響がありました。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2018年度	前期比較			予想比較		
		2017年度	増減額	増減率%	当初予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	2,987	3,093	105	3.4	2,962	25	0.9
レミケード	588	646	58	9.1	555	32	5.8
シンボニー	374	321	53	16.7	350	24	6.9
テネリア	152	175	23	13.3	170	18	10.8
ステラーラ	152	3	148	-	151	0	0.5
レクサプロ	140	127	12	9.7	131	8	6.4
セレジスト	89	108	18	17.4	93	4	4.3
クレメジン	66	65	1	2.1	84	17	21.0
カナグル	67	56	11	19.9	76	9	12.1
タリオン	64	169	105	62.1	73	9	12.8
ルパフィン	34	4	30	-	68	34	49.7
メインテート	51	103	52	50.6	53	2	3.9
カナリア	74	18	56	310.8	32	41	128.8
ワクチン	373	350	22	6.4	365	7	2.1
インフルエンザ	102	99	3	3.1	112	9	8.6
テトラビック	85	87	1	2.1	91	5	6.1
水痘ワクチン	51	52	1	3.5	55	4	7.4
ミールビック	68	50	18	37.0	55	13	23.3
ジェービックV	55	52	3	5.8	43	11	27.5
田辺製薬販売取扱品(注2)	-	66	66	100.0	-	-	-
海外医療用医薬品	551	385	165	42.9	611	60	9.8
ラジカヴァ	270	123	147	119.9	315	44	14.2
ヘルベッサ	68	65	3	6.1	72	3	4.5
アルガトロバン	19	20	1	7.9	22	3	14.7
シンボニー	20	18	1	7.6	21	1	4.8
タナトリル	15	17	2	12.7	14	0	0.9
ロイヤリティ収入等	631	791	160	20.3	698	67	9.7
ジレニア ロイヤリティ(注3)	497	577	79	13.8	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	105	139	34	24.4	非開示	-	-
一般用医薬品	37	37	0	1.0	43	5	13.4
その他(注4)	39	30	9	30.9	33	6	18.3
売上収益合計	4,247	4,338	90	2.1	4,350	102	2.4

(注1) 2018年5月9日に公表した当初業績予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 2018年度は、ノバルティスとの間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っていません。ノバルティスとの仲裁手続き中は、2018年度と同様に、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティスが契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2018年度末	構成比%	2017年度末 (注1)	増減額	主なポイント
資産	10,562	100.0	10,484	78	
非流動資産	4,678	44.3	4,629	49	
有形固定資産	733	6.9	804	71	設備投資+68億円、減価償却 71億円など
のれん	916	8.7	911	5	
無形資産	2,069	19.6	2,009	59	
持分法で会計処理 されている投資	162	1.5	164	1	
その他の金融資産	462	4.4	461	1	
退職給付に係る資産	214	2.0	227	12	
その他の非流動資産	2	0.0	3	1	
繰延税金資産	116	1.1	47	69	
流動資産	5,884	55.7	5,855	29	
棚卸資産	755	7.2	819	64	
営業債権(注2) (営業債権回転月数)	1,169 (3.30)	11.1	1,235 (3.42)	65	
その他の金融資産	2,714	25.7	2,467	246	
その他の流動資産	110	1.0	62	47	
現金及び現金同等物	1,118	10.6	1,270	151	P6「キャッシュ・フロー計算書」参照
売却目的で保有する資産	16	0.2	-	16	
負債	1,459	13.8	1,536	76	
非流動負債	542	5.1	554	11	
借入金	1	0.0	4	2	
その他の金融負債	21	0.2	21	0	
退職給付に係る負債	6	0.1	8	2	
引当金	69	0.7	85	15	
その他の非流動負債	51	0.5	55	3	
繰延税金負債	392	3.7	378	13	
流動負債	916	8.7	981	64	
借入金	0	0.0	1	0	
営業債務(注3)	314	3.0	356	41	
その他の金融負債	270	2.6	207	62	
未払法人所得税	95	0.9	180	85	
引当金	16	0.2	19	2	
その他の流動負債	216	2.1	216	0	
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	2	0.0	-	2	
資本	9,103	86.2	8,948	155	
資本金	500	4.7	500	-	
資本剰余金	4,512	42.7	4,512	0	
自己株式	10	0.1	10	0	
利益剰余金	3,879	36.7	3,821	58	当期利益373億円、配当金支払 314億円
その他の資本の構成要素	94	0.9	5	89	
非支配持分	127	1.2	120	7	

(注1) 2018年度第2四半期において、ニューロゲーム買収における取得対価の配分が完了いたしました。これに伴い、連結財政状態計算書の前連結会計年度を遡及修正しております。詳細につきましては、「2019年3月期 決算短信(IFRS)(連結)」25ページをご参照ください。

(注2) 営業債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注3) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2018年度	2017年度	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,270	1,132	138
営業キャッシュ・フロー	414	669	254
税引前利益	504	787	283
減価償却費及び償却費	115	115	0
減損損失	0	37	37
受取利息及び受取配当金	11	12	0
持分法による投資利益(は益)	0	0	1
有形固定資産売却損益(は益)	0	22	22
関係会社株式売却損益(は益)	-	35	35
構造改革費用	56	21	35
営業債権の増減額(は増加)	65	61	126
棚卸資産の増減額(は増加)	66	26	93
営業債務の増減額(は減少)	47	0	47
引当金の増減額(は減少)	19	25	45
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	1	11	9
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2	9	6
繰延収益の増減額(は減少)	6	4	2
利息・配当金の受取額	12	12	0
利息の支払額	2	1	0
法人所得税の支払額	355	138	216
その他	36	29	65
投資キャッシュ・フロー	312	191	120
定期預金の預入による支出	17	37	20
定期預金の払戻による収入	52	84	31
有形固定資産の取得による支出	57	64	6
有形固定資産の売却による収入	0	37	36
無形資産の取得による支出	37	220	182
投資の取得による支出	4,506	3,917	589
投資の売却及び償還による収入	4,223	4,287	63
預け金の回収による収入	-	700	700
子会社の売却による収入	-	108	108
子会社の取得による支出	-	1,197	1,197
事業譲渡による収入	30	30	-
その他	0	1	1
財務キャッシュ・フロー	258	325	66
自己株式の取得による支出	0	5	5
非支配株主からの払込による収入	62	54	8
配当金の支払額	314	370	56
その他	7	3	3
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	5	14	19
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	150	138	288
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	0	0	0
現金及び現金同等物期末残高	1,118	1,270	151

設備投資 / 情報システム開発投資

(単位:億円)

	2018年度	2017年度	増減額
設備投資額 / 発生ベース	68	44	23
システム投資額 / 発生ベース	17	16	0

2018年度の主な設備投資		2018年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	18億円	田辺三菱製薬	12億円
メディカゴ	28億円		
(ケベック新工場建設)	(18億円)		

減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2018年度	2017年度	増減額
有形固定資産	71	75	4
無形資産(製品に係るものを除く)	14	14	0
製品に係る無形資産	29	24	4

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱 製薬工場	ミツビシタナベファーマ ホールディングスアメリカ	メディカゴ	天津田辺製薬	ミツビシタナベ ファーマコリア
売上収益	2018年度	263	339	6	58	64
	2017年度	295	184	5	53	59
営業利益	2018年度	16	34	136	4	5
	2017年度	30	20	107	2	5
当期利益	2018年度	12	29	137	1	4
	2017年度	22	17	108	1	4
研究開発費	2018年度	8	40	142	0	-
	2017年度	8	39	111	1	-
有形固定資産 減価償却費	2018年度	24	1	5	2	0
	2017年度	24	1	4	2	0
資産合計	2018年度末	451	540	389	56	47
	2017年度末	473	417	353	55	45
資本合計	2018年度末	390	229	263	32	35
	2017年度末	390	191	245	32	34
従業員数(人)	2018年度末	633	265	421	508	143
	2017年度末	680	174	350	521	137

* 上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

3 2019年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

損益予想

(単位:億円)

	2019年度 上期予想	2019年度 通期予想	前期比較			主なポイント(前期比較)
			2018年度 実績	増減額	増減率%	
売上収益	1,870	3,760	4,247	487	11.5	P9「主要製品売上収益予想」参照
国内	1,536	3,083	3,077	6	0.2	
海外	333	676	1,170	493	42.2	
海外売上比率	17.8%	18.0%	27.6%			
売上原価	875	1,785	1,806	21	1.2	製品構成の変化等により売上原価率が上昇
売上原価率	46.8%	47.5%	42.5%			
売上総利益	995	1,975	2,441	466	19.1	
販管費	490	990	982	7	0.8	
販管費比率	26.2%	26.3%	23.1%			
研究開発費	445	855	865	10	1.2	
研究開発費比率	23.8%	22.7%	20.4%			
製品に係る 無形資産償却費	13	25	29	4	14.8	
その他損益(注)	2	5	5	0	-	
コア営業利益	45	100	558	458	82.1	
非経常項目(注)	5	15	55	70	-	
営業利益	50	115	503	388	77.1	
税引前利益	55	120	504	384	76.2	
当期利益	10	40	322	282	87.6	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	40	50	373	323	86.6	
総人件費	384	745	741	3	0.5	

(注) 費用・損失の場合に 表示しております。

為替レート

(単位:円)

	2019年度 想定レート	2018年度 平均レート
米ドル	110.00	111.07
ユーロ	125.00	128.26

主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2019年度 上期予想	2019年度 通期予想(注1)	前期比較		
			2018年度 実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,475	2,981	2,987	6	0.2
レミケード	269	531	588	57	9.7
シンボニー	212	430	374	55	14.8
ステラール	110	216	152	64	42.4
テネリア	80	161	152	8	5.9
レクサプロ	74	152	140	12	9.2
カナグル	46	109	67	41	62.1
セレジスト	45	88	89	1	1.4
クレメジン	43	87	66	20	30.6
ルパフィン	23	78	34	44	128.9
カナリア	41	76	74	2	3.7
タリオン	27	57	64	6	10.5
ワクチン	144	362	373	10	2.9
インフルエンザ	10	107	102	5	5.1
テトラビック	49	100	85	14	17.4
水痘ワクチン	26	51	51	0	1.7
海外医療用医薬品	241	496	551	54	9.9
ラジカヴァ	110	220	270	50	18.6
ヘルベッサー	35	72	68	3	5.3
シンボニー	10	20	20	0	4.8
アルガトロバン	8	17	19	1	6.6
タナトリル	8	16	15	1	7.4
ロイヤリティ収入等	98	192	631	438	69.5
ジレニア ロイヤリティ(注2)	非開示	非開示	497	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	105	-	-
一般用医薬品	25	43	37	5	14.6
その他(注3)	29	46	39	6	16.2
売上収益合計	1,870	3,760	4,247	487	11.5

(注1) 2019年10月の消費増税に伴う薬価改定の影響について、売上予想全体には織り込んでいますが、個別製品の予想には織り込んでいません。

(注2) 2018年度は、ノバルティスとの間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティスとの仲裁手続き中は、2018年度と同様に、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティスが契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

設備投資 / 情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2019年度 上期予想	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額 / 発生ベース	111	223	68	154	224.9
システム投資額 / 発生ベース	10	17	17	0	3.8

2019年度の主な設備投資予定		2019年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	197億円	生産関係設備	3億円
(メディカゴ)	(135億円)	研究開発関係設備	4億円
(田辺三菱製薬工場)	(25億円)	その他	10億円
研究開発関係設備	17億円		
その他	9億円		

減価償却費および償却費予想

(単位:億円)

	2019年度 上期予想	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	54	110	71	38	53.9
無形資産(製品に係るものを除く)	7	15	14	0	3.6
製品に係る無形資産	13	25	29	4	14.8

4 5ヵ年連結財務数値

日本基準 (億円未満四捨五入)

損益計算書

(単位:億円)

	2014年度	2015年度
売上高	4,151	4,317
売上原価	1,696	1,558
売上総利益	2,455	2,759
販管費	1,784	1,810
研究開発費	696	753
営業利益	671	949
経常利益	677	948
特別利益	137	141
特別損失	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	395	564

貸借対照表

(単位:億円)

	2014年度末	2015年度末
総資産	9,293	9,302
流動資産	6,036	6,573
固定資産	3,257	2,730
負債	1,289	1,135
流動負債	1,054	913
固定負債	235	222
純資産	8,004	8,167

その他財務数値

(単位:億円)

	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	682	652
投資キャッシュ・フロー	598	266
財務キャッシュ・フロー	219	222
設備投資	157	112
情報システム開発投資	16	9
減価償却費	90	88
自己資本比率(%)	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,406.41	1,436.63

IFRS (億円未満切り捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
売上収益	4,257	4,239	4,338	4,247	3,760
売上原価	1,558	1,643	1,697	1,806	1,785
売上総利益	2,699	2,595	2,641	2,441	1,975
販管費	963	983	1,040	982	990
研究開発費	646	647	790	865	855
コア営業利益	1,069	945	785	558	100
営業利益	818	940	772	503	115
税引前利益	832	960	787	504	120
当期利益	570	689	539	322	40
親会社の所有者に帰属する当期利益	593	712	579	373	50

財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末
資産	9,584	9,845	10,484	10,562
非流動資産	3,082	3,007	4,629	4,678
流動資産	6,501	6,837	5,855	5,884
負債	1,321	1,131	1,536	1,459
非流動負債	332	247	554	542
流動負債	989	884	981	916
資本	8,263	8,714	8,948	9,103

その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	669	414	-
投資キャッシュ・フロー	422	105	191	312	-
財務キャッシュ・フロー	222	244	325	258	-
設備投資	112	126	44	68	223
情報システム開発投資	9	18	16	17	17
減価償却費および償却費	103	104	115	115	150
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	87.4	84.2	85.0	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	6.6	4.2	-
基本的1株当たり当期利益(円)	105.72	127.03	103.35	66.64	8.92
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	1,574.26	1,600.64	-

従業員数

(単位:人)

	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末 予想
連結	8,457	8,125	7,280	7,187	7,228	7,200
単体	4,844	4,780	4,239	4,222	4,111	3,960

5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2017年度					2018年度					2019年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上収益	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	3,760
国内	820 25.6%	786 24.5%	946 29.5%	655 20.4%	3,208 100.0%	741 24.1%	723 23.5%	899 29.2%	713 23.2%	3,077 100.0%	3,083
海外	256 22.7%	269 23.9%	313 27.7%	290 25.7%	1,129 100.0%	311 26.6%	320 27.4%	328 28.1%	209 17.9%	1,170 100.0%	676
売上原価	425	419	497	355	1,697	423	437	530	414	1,806	1,785
売上原価率	39.5%	39.7%	39.5%	37.6%	39.1%	40.2%	42.0%	43.2%	44.9%	42.5%	47.5%
売上総利益	651 24.7%	637 24.1%	762 28.9%	590 22.3%	2,641 100.0%	630 25.8%	605 24.8%	697 28.6%	508 20.8%	2,441 100.0%	1,975
販管費	244 23.5%	270 26.0%	261 25.2%	264 25.4%	1,040 100.0%	231 23.6%	245 25.0%	254 25.9%	250 25.5%	982 100.0%	990
研究開発費	180 22.9%	182 23.1%	197 25.0%	229 29.0%	790 100.0%	196 22.7%	199 23.0%	223 25.8%	246 28.5%	865 100.0%	855
製品に係る無形 資産償却費	5 21.5%	5 21.5%	6 27.1%	7 29.9%	24 100.0%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	29 100.0%	25
その他損益(注)	1 -	1 -	3 -	0 -	0 -	1 -	1 -	0 -	1 -	5 -	5
コア営業利益	219 28.0%	177 22.6%	299 38.2%	88 11.3%	785 100.0%	193 34.6%	151 27.2%	210 37.7%	2 0.5%	558 100.0%	100
営業利益	210 27.2%	158 20.5%	316 40.9%	88 11.4%	772 100.0%	193 38.4%	151 30.2%	219 43.6%	61 12.2%	503 100.0%	115
税引前(四半期)利益	219 27.9%	155 19.8%	326 41.5%	85 10.8%	787 100.0%	197 39.1%	150 29.9%	217 43.1%	61 12.1%	504 100.0%	120
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	169 29.3%	128 22.2%	222 38.4%	58 10.1%	579 100.0%	139 37.4%	110 29.5%	164 44.1%	40 11.0%	373 100.0%	50

* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注) 費用・損失の場合に 表示しております。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2017年度					2018年度					2019年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	799 25.9%	773 25.0%	923 29.8%	597 19.3%	3,093 100.0%	716 24.0%	699 23.4%	876 29.3%	695 23.3%	2,987 100.0%	2,981
レミケード	168 26.0%	161 24.9%	182 28.2%	135 20.9%	646 100.0%	151 25.7%	148 25.2%	160 27.2%	128 21.9%	588 100.0%	531
シンボニー	75 23.5%	77 24.2%	92 28.6%	76 23.7%	321 100.0%	90 24.0%	95 25.4%	102 27.3%	87 23.3%	374 100.0%	430
テネリア	46 26.7%	46 26.8%	58 33.4%	22 13.1%	175 100.0%	44 29.5%	27 18.0%	39 25.8%	40 26.7%	152 100.0%	161
ステララ	- -	0 6.9%	0 18.9%	2 74.2%	3 100.0%	2 1.4%	45 30.0%	56 37.3%	47 31.3%	152 100.0%	216
レクサプロ	31 24.5%	31 24.3%	36 28.8%	28 22.4%	127 100.0%	34 24.4%	34 24.4%	38 27.8%	32 23.4%	140 100.0%	152
セレジスト	30 28.3%	26 23.9%	31 28.8%	20 19.0%	108 100.0%	24 27.7%	22 24.6%	24 27.4%	18 20.3%	89 100.0%	88
クレメジン	17 26.9%	15 24.3%	17 26.8%	14 22.0%	65 100.0%	17 25.5%	16 24.9%	18 27.6%	14 22.0%	66 100.0%	87
カナグル	14 25.9%	12 21.7%	17 30.8%	12 21.6%	56 100.0%	14 22.2%	15 22.9%	19 29.4%	17 25.5%	67 100.0%	109
タリオン	40 23.7%	39 23.2%	47 28.3%	41 24.8%	169 100.0%	14 22.3%	11 17.9%	15 24.7%	22 35.1%	64 100.0%	57
ルバフィン	- -	- -	6 158.4%	2 58.4%	4 100.0%	1 5.0%	2 6.1%	5 16.7%	24 72.2%	34 100.0%	78
メインテート	29 28.8%	26 25.1%	30 29.6%	17 16.4%	103 100.0%	14 27.7%	12 24.1%	13 27.1%	10 21.0%	51 100.0%	非開示
カナリア	- -	11 61.0%	0 2.3%	6 36.7%	18 100.0%	14 19.1%	16 22.3%	23 31.1%	20 27.5%	74 100.0%	76
ワクチン	68 19.5%	76 21.7%	154 44.0%	51 14.7%	350 100.0%	88 23.7%	67 18.1%	148 39.9%	68 18.4%	373 100.0%	362
インフルエンザ	0 0.3%	11 11.4%	90 91.4%	2 2.5%	99 100.0%	1 1.1%	10 10.6%	85 83.4%	7 7.0%	102 100.0%	107
テトラビック	23 26.7%	20 23.9%	22 25.6%	20 23.7%	87 100.0%	22 25.7%	19 23.0%	23 26.9%	20 24.4%	85 100.0%	100
水痘ワクチン	14 27.4%	12 23.8%	13 25.6%	12 23.1%	52 100.0%	14 27.7%	12 23.8%	13 25.7%	11 22.9%	51 100.0%	51
ミールビック	15 31.3%	13 26.3%	12 24.3%	9 18.0%	50 100.0%	33 48.0%	7 11.5%	12 17.4%	15 23.0%	68 100.0%	48
ジェービックV	13 25.0%	15 30.0%	13 26.2%	9 18.9%	52 100.0%	16 30.0%	14 25.8%	13 24.5%	10 19.7%	55 100.0%	45
田辺製薬販売 取扱品(注2)	34 51.4%	32 48.6%	- -	- -	66 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	-
海外医療用医薬品	59 15.4%	80 20.9%	117 30.5%	128 33.3%	385 100.0%	129 23.5%	145 26.3%	144 26.3%	131 23.9%	551 100.0%	496
ラジカヴァ	- -	11 9.5%	52 42.9%	58 47.6%	123 100.0%	64 23.7%	74 27.7%	67 25.0%	64 23.7%	270 100.0%	220
ヘルベッサ	15 23.1%	16 25.4%	15 24.2%	17 27.3%	65 100.0%	16 24.4%	16 23.9%	17 24.9%	18 26.7%	68 100.0%	72
アルガトロバン	4 23.0%	5 25.3%	6 31.0%	4 20.8%	20 100.0%	5 29.4%	4 24.5%	5 26.7%	3 19.3%	19 100.0%	17
シンボニー	4 24.4%	4 25.4%	4 25.5%	4 24.7%	18 100.0%	4 24.2%	5 25.0%	4 24.8%	5 26.1%	20 100.0%	20
タナトリル	3 20.7%	4 25.4%	4 25.9%	4 28.0%	17 100.0%	3 23.7%	4 30.7%	4 27.1%	2 18.5%	15 100.0%	16
ロイヤリティ収入等	204 25.9%	191 24.2%	199 25.2%	196 24.8%	791 100.0%	185 29.3%	177 28.2%	186 29.6%	81 12.9%	631 100.0%	192
ジレニア	145 25.3%	149 25.8%	152 26.5%	129 22.4%	577 100.0%	153 30.9%	145 29.3%	147 29.6%	50 10.2%	497 100.0%	非開示
ロイヤリティ(注3)	36 25.7%	36 26.3%	38 27.6%	28 20.4%	139 100.0%	24 23.6%	24 23.4%	32 30.5%	23 22.5%	105 100.0%	非開示
インヴォカナ	11 31.1%	10 27.0%	9 26.4%	5 15.5%	37 100.0%	12 31.9%	9 26.4%	10 26.8%	5 14.9%	37 100.0%	43
その他(注3)	1 5.3%	0 3.1%	9 32.7%	17 58.9%	30 100.0%	10 25.9%	11 28.8%	9 22.9%	8 22.4%	39 100.0%	46
売上収益合計	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	3,760

* 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 2019年10月の消費増税に伴う薬価改定の影響について、売上予想全体には織り込んでいますが、個別製品の予想には織り込んでいません。

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 2018年度は、ノバルティスとの間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティスとの仲裁手続き中は、2018年度と同様に、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティスが契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注4) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2019年4月30日現在)

自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニ スト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(クローン病)	日本 フェーズ 2	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33)モノ クローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
	(季節性アレルギー性鼻炎)	フェーズ 1	

糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	米国 申請(2019年3月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米) へ導出
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	日本 フェーズ 3	自社創製品
		アジア 申請	自社創製品
		中国 フェーズ 3	
欧州 フェーズ 2			
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 フェーズ 3	アケビア(米)から導入
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎: NASH)	日本 フェーズ 2	

アジア: 日本・中国を除く

中枢神経系疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	欧州 申請(2018年5月)	自社創製品
		中国 申請(2019年4月)	
		アジア 申請	
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	ゲデオンリヒター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199	小胞モ/アミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ2/3	ニューロクラインバイオサイエンス(米) から導入
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ2	
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ2	自社創製品
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	フェーズ1	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	フェーズ1	自社創製品
MT-6345	神経系用剤	フェーズ1	宇部興産(日)と共同開発

ワクチン

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	米国、欧州 フェーズ3	メディカゴ(カナダ)品
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	米国、欧州 フェーズ3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ1	メディカゴ(カナダ)品

アジア: 日本・中国を除く

その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (アレルギー性鼻炎、蕁麻疹)	アジア 申請	宇部興産(日)から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能 亢進症における高カルシウム血症)	日本 申請(2019年4月)	協和発酵キリン(日)へ導出
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ 1	自社創製品

アジア:日本・中国を除く

2018年度第3四半期決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2019年4月30日 現在	起源/導出先等
アザニン (アザチオプリン)	免疫抑制剤 (自己免疫性肝炎)	日本 申請(2018年8月)	日本 承認(2019年2月)	グラクソ・スミスクライン (英)から導入
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	スイス 申請(2017年12月)	スイス 承認(2019年1月)	自社創製品
		記載なし	中国 申請(2019年4月)	
		記載なし	アジア 申請	
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	日本、米国、欧州他 フェーズ3 国際共同治験	米国 申請(2019年3月)	ヤンセンファーマシュー ティカルズ(米)へ導出
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機 能亢進症における高カルシウム血症)	日本 フェーズ3	日本 申請(2019年4月)	協和発酵キリン(日)へ 導出
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33) モノクローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	フェーズ1	グローバル フェーズ2	自社創製品
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ フェーズ2	削除 (メルクとのライセンス 契約終了)	メルク(米)へ導出

アジア: 日本・中国を除く

7 その他

1. 関係会社

関係会社数

	2018年度末	2017年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	34	33	1	増加)ミツビシ タナベ ファーマ マレーシア
関連会社および ジョイントベンチャー数	2	2	-	
合計	36	35	1	

連結子会社一覧

(2019年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺三菱製薬プロビジョン	100百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品情報に係る業務、経理・総務・人事等の運営に係る業務
5	田辺パルムサービス	10百万円	100.0 (100.0)	3月末	印刷業務、社内郵便業務、オフィスサポート業務
6	ステリック再生医学研究所	1百万円	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
7	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (-)	3月末	米国事業の統括
8	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
9	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
11	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
12	ミツビシ タナベ ファーマ カナダ	CAD 4 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
13	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 542.2 Mill.	100.0 (-)	3月末	メディカゴグループへの投資
14	メディカゴ	CAD 752.0 Mill.	60.0 (58.1)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
15	メディカゴ U.S.A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
16	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
17	田辺三菱製薬研発(北京)	USD 1 Mill.	100.0 (-)	12月末	医薬品の研究開発
18	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
19	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
20	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の販売
21	ミツビシ タナベ ファーマ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
22	ミツビシ タナベ ファーマ シンガポール	SGD 2 Mill.	100.0 (-)	3月末	アセアン事業の統括
23	ミツビシ タナベ ファーマ マレーシア	MYR 5 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ タイランド	THB103 Mill.	100.0 (2.0)	3月末	医薬品の販売
25	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
26	ニューロダーム	USD 58,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
27	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
28	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

* 上記以外に連結子会社が5社(内、清算手続中の会社が2社、休眠会社が1社)あります。また、業績連動型株式報酬にかかる信託を連結子会社に含めております。

関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2019年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1.6 Mill.	50.0 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
2	BIKEN	100百万円	33.4 (-)	3月末	ワクチンを含む生物学的製剤の製造・販売

2. 株式の状況

発行済株式数

	2019年3月末	2018年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数(注)	640,305	642,309
期末発行済株式数	560,777,611	560,775,607
期中平均自己株式数	641,042	560,272
期中平均株式数	560,776,874	560,857,644

(注) 期末自己株式数には、業績連動型株式報酬にかかる信託が所有する当社株式(2019年3月末208,655株、2018年3月末211,100株)が含まれております。

大株主の状況

順位	株主名	2019年3月末		2018年3月末		
		持株数 千株	持株比率%	順位	持株数 千株	持株比率%
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.39	1	316,320	56.39
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	26,596	4.74	2	27,144	4.84
3	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	14,679	2.62	3	12,733	2.27
4	日本生命保険	12,065	2.15	4	12,065	2.15
5	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	7,826	1.40	6	7,118	1.27
6	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	4,627	0.82	7	4,822	0.86
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	4,113	0.73	8	4,662	0.83
8	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	4,029	0.72	16	2,532	0.45
9	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,928	0.70	20	2,113	0.38
10	ニプロ	3,821	0.68	10	3,821	0.68

所有者別株式分布状況(単元株)

	2019年3月末			2018年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比%	株主数 名	株式数 千株	構成比%
金融機関	74	90,932	16.20	79	92,006	16.39
外国法人等	624	101,801	18.14	608	108,658	19.36
個人・その他(注)	24,964	29,762	5.30	18,126	25,240	4.50
その他の法人	285	330,056	58.80	268	330,078	58.81
金融商品取引業者	44	8,754	1.56	40	5,325	0.95
合計	25,991	561,307	100.00	19,121	561,310	100.00
(単元未満株式の状況)	-	110	-	-	107	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2019年3月末431千株、2018年3月末431千株)を含んでおります。

配当金 / 株価推移

(日本基準)	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	42	46
配当性向(%)	59.6	45.7
(のれん償却前)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	11,576	10,987

(IFRS)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	52	66*	56	56
配当性向(%)	43.5	40.9	63.9	84.0	628.1
期末株価(円)	1,957	2,318	2,080	1,479	-
株式時価総額(億円)	10,987	13,014	11,677	8,303	-

*当社は、2017年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当(10円)を実施いたしました。

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効分類	抗ヒTNF モノクローナル抗体製剤
<p>早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が強長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎、腸管型ペーチェット病、神経型ペーチェット病、血管型ペーチェット病、川崎病の効能・効果を有する。2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について、2017年5月にはクローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)について承認を取得している。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効分類	ヒト型抗ヒTNF モノクローナル抗体製剤
<p>4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。また、2018年4月より、関節リウマチに対しては、自己注射が可能となっている。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
ステララー	2011年3月発売	薬効分類	ヒト型抗ヒIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるIL-12/23をターゲットとしたモノクローナル抗体で、12週間に1回の皮下注射投与(初回のみ点滴静注投与)で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。2011年3月よりヤンセンファーマから発売。適応症は乾癬に加え、2017年3月にクローン病の効能を追加した。2017年4月より、クローン病の適応についてのみ、当社とヤンセンファーマの両社でコ・プロモーションを展開。2018年7月の販売枠組み変更により、流通を当社に変更し、引き続きクローン病にてコ・プロモーションを実施している。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効分類	選択的DPP-4阻害剤 -2型糖尿病治療剤-
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジベプチルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
カナグル	2014年9月発売	薬効分類	SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤-
<p>当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体(sodium glucose co-transporter; SGLT)2阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿糖排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め世界80カ国以上で承認されており、これらの国ではヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している。</p>			
カナリア	2017年9月発売	薬効分類	選択的DPP-4阻害剤/SGLT2阻害剤 配合剤 -2型糖尿病治療剤-
<p>日本で初めて発売されたDPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤を含有する配合剤であり、当社が創製したDPP-4阻害剤「テネリア」とSGLT2阻害剤「カナグル」が配合されている。本剤は、長期にわたる良好な血糖コントロールと服薬錠数が低減されることでアドヒアランスの向上に繋がることが期待されている。</p>			
クレメジン	1991年12月発売	薬効分類	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始している。2018年1月に速崩錠を発売している。</p> <p>オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効分類	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポータに高い選択性を持つSSRIで、世界98の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得している。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
イムセラ	2011年11月発売	薬効分類	多発性硬化症治療剤
<p>多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中枢神経系への浸潤を阻止する。多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。</p>			

ラジカット (ラジカヴァ)	2001年6月発売	薬効分類	フリーラジカルスカベンジャー
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p> <p>筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。</p> <p>海外では、韓国(2015年12月)、米国(2017年5月)、カナダ(2018年10月)およびスイス(2019年1月)で承認を取得している。</p>			
ルパフィン	2017年11月発売	薬効分類	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗PAF作用と抗ヒスタミン作用を併せ持つ新しい作用機序のアレルギー性疾患治療剤。本剤は、PAFとヒスタミンの2つのケミカルメディエーターを抑えることにより、即時型ならびに遅延型アレルギー症状の抑制が期待できる薬剤として開発され、「アレルギー性鼻炎」および「蕁麻疹」「皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒」の効能を有している。</p> <p>オリジン:ユリアック(スペイン)、製造販売元:帝國製薬 PAF(platlet activating factor):血小板活性化因子</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効分類	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得している。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効分類	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売している。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効分類	選択的 1アンタゴニスト
<p>世界100か国以上で使用されている代表的な 1アンタゴニスト(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)。極めて高い 1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加している。</p> <p>オリジン:(独)メルクセロー</p>			
インフルエンザ ワクチン	1972年9月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
<p>季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
テトラピック	2012年10月発売	薬効分類	ワクチン・トキソイド混合製剤
<p>百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎の予防に用いられる。既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
<p>水痘および50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に用いられる。2014年に水痘(みずぼうそう)の予防として定期接種化された。また、2016年に、50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に関する効能・効果が承認されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールピック	2005年12月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類混合製剤
<p>麻疹および風しんの予防に用いられる。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻疹と風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻疹および風しんの予防接種率向上に寄与している。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
<p>日本脳炎の予防に用いられる。製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。本剤は製造過程でマウス脳を使用しないため、副反応(ADEM:急性散在性脳脊髄炎)軽減が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2018年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<https://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2018年 10月5日	日本発のALS治療薬をカナダのALS患者さんに届けます ALS治療薬「ラジカヴァ」のHealth Canadaによる承認取得について
10月9日	「JOINUS」第2回公募に関するお知らせ アステラス、田辺三菱、第一三共の3社共同ドラッグリポジショニング 化合物ライブラリーを用いた新薬探索プログラム
10月11日	LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で「シルバー」を受賞
10月22日	自己免疫疾患治療をめざした抗体医薬に関する共同研究契約締結のお知らせ
10月23日	飲食前の1本で、肝臓に作用し、二日酔いのむかつきに効く！「ウルソ」ブランドの二日酔い対策ドリンク 指定医薬部外品「ウルソウコン」新発売！
11月1日	インドネシア・スラウェシ島地震および津波被害に対する支援について
11月15日	ALS治療薬エダラボンの新投与経路製剤MT-1186(経口懸濁剤)について エダラボン点滴静注製剤に類似の薬物動態データを学会発表
11月19日	「中期経営計画16-20 Open Up the Future」の見直しに関するお知らせ
12月10日	ALSに関連するバイオマーカーを特定するための研究開始 ~患者さんに適切な治療の選択肢を提供するために~
12月10日	田辺三菱製薬プロビジョン株式会社の発足について
12月11日	次世代化合物ライブラリーを用いた創薬基盤技術の活用に関するHitGen社との共同研究契約締結のお知らせ
2019年 2月4日	田辺製薬吉城工場株式会社の株式譲渡契約締結に関するお知らせ
2月6日	日本発のALS治療薬「ラジカヴァ」がスイスでも承認されました
2月12日	デジタルメディシンの第一弾 糖尿病ケアアプリ「TOMOCO」社会実証の開始について ~実証パートナーとなっただけの国民健康保険・健康保険組合などの保険者、地方自治体を募集~
2月14日	固形がんに対する抗体薬物複合体であるMT-8633についてFDAが第1相臨床試験開始のためのINDを受領
2月20日	「ピブレッツ徐放錠50mg、同150mg」共同プロモーション開始のお知らせ
2月20日	当社に対する仲裁の申立てに関するお知らせ
2月28日	2型糖尿病治療剤「テネリア」の中国におけるプロモーションについて天津田辺製薬有限公司がServier Pharmaと委委託契約を締結
3月7日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」 第7期 助成先決定のお知らせ
3月12日	HIF-PH阻害薬MT-6548の腎性貧血患者を対象とした 国内第3相臨床試験結果について
3月20日	成長するアセアン地域における収益拡大と販売基盤強化に向けて マレーシア販売子会社設立およびベトナム駐在員事務所設置のお知らせ
3月26日	HGF遺伝子治療用製品の国内条件付承認を取得 国内初の遺伝子治療用製品、重症虚血肢を対象
3月28日	田辺三菱製薬とマラリア研究機関の抗マラリア薬の共同研究に対し、グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)から資金助成
4月10日	モジュール型製造装置を連結したコンパクトの連続生産設備「iFactory」の開発事業を加速 ~医薬品原体の生産量を柔軟に変更できるオンデマンド生産の実現に貢献~
4月11日	研究、生産・技術拠点再編のお知らせ
4月15日	世界のALS患者さんへ 日本発のALS治療薬を届けたい 中国の国家薬品监督管理局(NMPA)がALS治療薬(ラジカット)の申請を受理
4月26日	自己免疫疾患治療剤MT-1303に関するSalixへの権利許諾に係わるライセンス契約締結について